

会員のコーナー

私のゴルフと人生

この2年の間に日本中でゴルフ熱が沸騰してきました。

2019年に渋野日向子プロが全英女子オープンに優勝し、今年になってマスターズに松山英樹プロが優勝し、その後開催された全米女子オープンでは、笹生優花プロが史上最年少優勝を飾りました。いま日本中で、ゴルフブームが巻き起こっています。

昨年から新型コロナ感染対策の中、ゴルフに関しては、営業的な制限も少なくプレーが可能なため老若男女関係なくゴルフ熱が上がっているようです。特に千葉県はアクアライン効果などもあり、県外からの来場者も多く、どこのゴルフ場も満員状態で、今年の4月からプレー料金を値上げしたところも出ているほどです。

小職も7月に68歳を迎えましたが、ゴルフ歴43年になります。今思えば40代後半がハンデキャップ8までに上がりゴルフ全盛期でした。「仕事は趣味で、ゴルフが仕事！」なんて有頂天になっていたころが懐かしく思います。

実は50歳を超えたころからパター以外のショットが極度のイップスに罹り、スコアも70台で廻れた全盛期から100を切れない状態に陥り約15年間楽しくないゴルフをしてきました。

65歳になった頃から、「イップスを無理に直

そうとせず」、「健康で楽しくプレーする」ことを基本に、且つ長年連れ添ってきた妻とゴルフを一緒にする機会を多く作ってきました。2019年の10月には、宮古島に妻とゴルフ三昧の旅をしました。昨年になるとコロナ禍ではありましたが、比較的に影響の少ないゴルフを日曜日に妻とメンバーコースと一緒に行ってプレーを楽しむようになりました。

そのように続けていたら、長年苦しんできたイップスが無くなっていました。「スコアには拘らず、健康で楽しく」をやっているうちに克服したのです。イップスが気にならなくなったら楽しくなりスコアも良くなってきました。今年になってドライバーを新調したりして飛距離やスコアにも拘れるようになってるのに驚いています。15年間の長いトンネルから出ることができました。

これからは、健康で楽しく、そして生涯ゴルフを楽しみ、パワフルな人生を送りたいと考えています。ゴルフの目標は、80歳までにエージシューター（歳の数で廻ること）100歳までゴルフを楽しむこととし、残された人生では、全国の地籍調査の早期完成に貢献したいと考えています。



健康で楽しくいつも若々しく

関わる人に貢献する人生でありたい



（株式会社コーケン 石塚 修）